

対策メニューを進めるにあたっての 論点整理

令和5年9月13日

高速道路SA・PAにおける利便性向上に関する検討会

2024年問題・トラックドライバーの労働環境改善への対応(論点)

【0. 全般】

- : どのようなエリア・路線で、どのような優先順位で対策を行えば、トラックドライバーの労働環境改善に有効か。
- : 即効性のある対策と抜本的な対策をどのように組み合わせ、施策を実行すべきか

【1. 駐車マスの拡充】

- : 大型車駐車マスの拡充を路線毎にどのような箇所でどの程度まで進めるべきか。
- : 既存SA・PAを活用した対策だけで駐車マス不足に対応できない場合、どのような考え方でSA・PAの駐車容量拡充を行っていくべきか。

【2. 確実な駐車機会の提供】

- : 確実な駐車機会の提供のため、駐車場予約システム、短時間限定駐車マスの取組を、いかに検証・評価し、さらなる対策を実施していくべきか。

【3. 休憩施設空白区間の解消】

- : 混雑対策と休憩施設空白区間の解消をどのように組み合わせれば、ドライバーの労働環境改善に有効か。

【4. 物流効率化・労働環境改善】

- : 2024年問題の解決に向けて、物流効率化に資する対策をどこまで実現できるか。
- : 物流効率化に向け、どのような路線・箇所で中継輸送のニーズがあるのか。
- : 通常の駐車マスに駐車できない特殊な車両の駐車機会を、いかに確保していくべきか。
- : 限られたSA・PA敷地で、ドライバーニーズに必要な設備・施設をいかに整備していくべきか。

【5. 混雑状況の把握・情報提供】

- : SA・PAの利用平準化(並行路線への利用転換含む)に向け、どのような技術を用いて、どのような箇所で情報提供していくべきか。

カーボンニュートラルへの対応(論点)

【EV充電器等】

- : 都市部・地方部含め、いかにEV充電器等、エネルギー供給網を構築していくべきか。